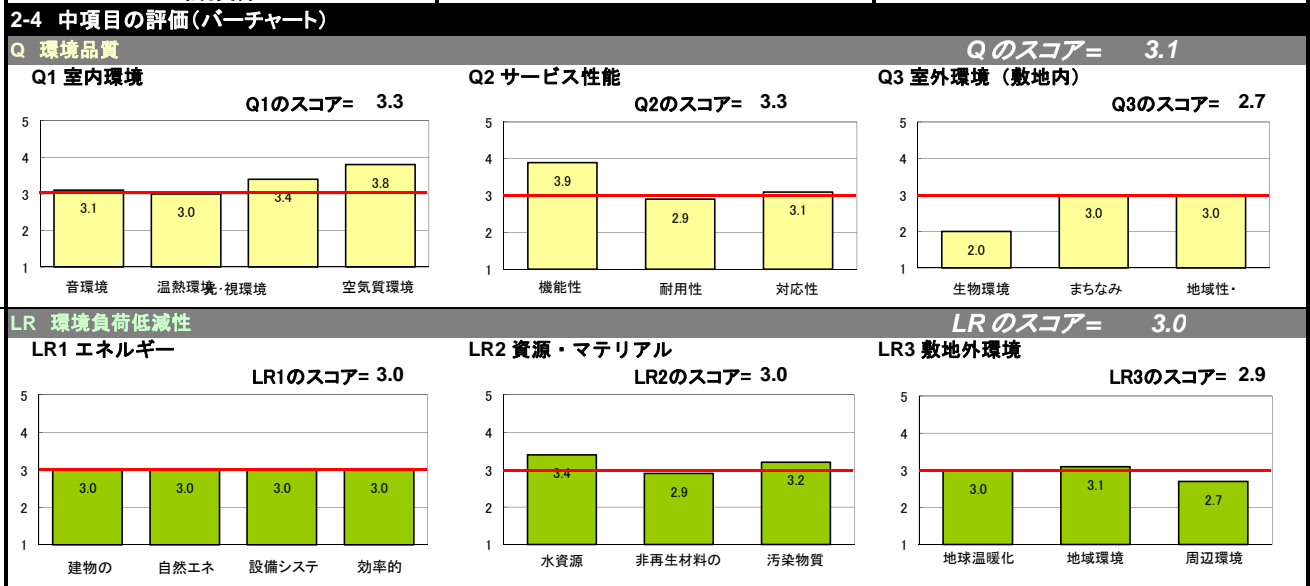
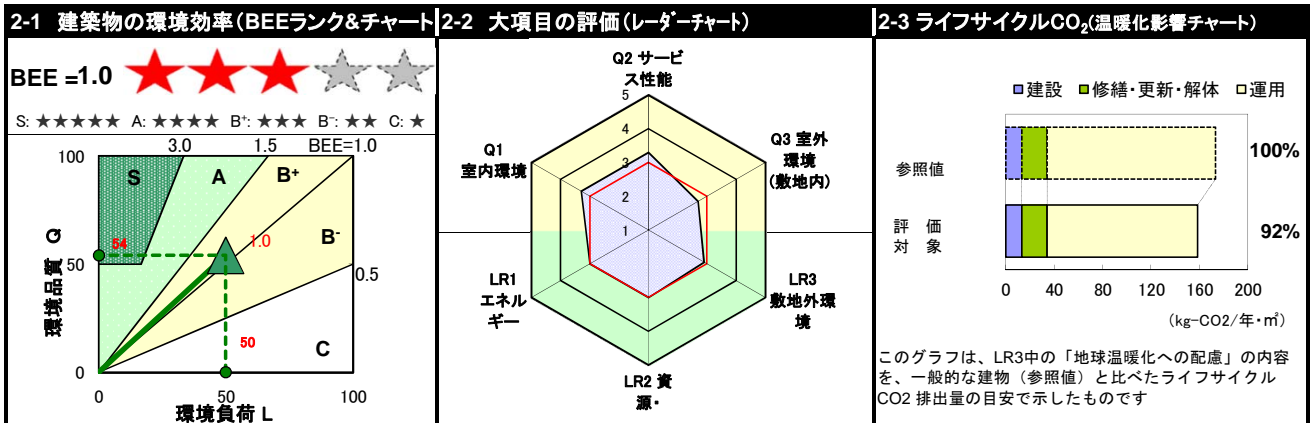


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福祉施設「えるむ」	階数	地上4F
建設地	京都府福知山市	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域(法22条地域)	平均居住人員	73 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2011年2月16日
敷地面積	1,713 m ²	作成者	㈱日吉設計
建築面積	806 m ²	確認日	2011年2月16日
延床面積	2,867 m ²	確認者	㈱日吉設計



3 設計上の配慮事項		
総合 建物を環境性能で計画配慮いたしました。	その他 特に配慮なし	
Q1 室内環境 室内環境に対して建物の特性について配慮いたしました。	Q2 サービス性能 サービス性能に対して建物の形体について配慮いたしました。	Q3 室外環境(敷地内) 室外環境(敷地内)に対して建物の用途上の景観について配慮いたしました。
LR1 エネルギー LR1 エネルギーに対して建物の熱源について配慮いたしました。	LR2 資源・マテリアル LR2 資源・マテリアルに対して建物の設備機器について配慮いたしました。	LR3 敷地外環境 LR3 敷地外環境に対して建物の形状について配慮いたしました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される